

新型コロナウイルス「第8波」の兆し

病床確保数「フェーズ3」へ

立憲民主党・
民権クラブ 県議会議員 きしべ都

11月に入り、県内の新型コロナウイルスの新規感染者数は前週比を上回って、感染拡大傾向が止まりません。国の新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開いて国の新たな4段階の「3」に引き上げ、(重症患者は増加傾向にないため、「1」のまま)感染拡大を決めました。

この決定に先立って、コロナ患者の受入れを行う神奈川モデル認定医療機関に対し、再度、地域の実状に応じた弾力的な即応病床拡大を依頼。各病院に計1640床の確保を要請済みです。

今年冬は季節性イン

フルエンザとの同時流行の可能性も指摘されており、感染状況の動向を注視していくとともに、県民の皆さんへのオミクロン株対応ワクチンの年内接種、各ご家庭での抗原検査キット、解熱鎮痛剤の常備、基本的感染対策の徹底をお願いしているところです。

年末年始に向けて、発熱診療等医療機関や保険薬局の開院への協力金の支給事業をゴールデンウィークに続けて行うことが公表されました。



みなさまからのご意見、ご要望をお待ちしています

きしべ都政務活動事務所

南区通町2-25-3 千々輪ビル1階

☎045-341-3385

<http://kishibe-miyako.com/>

引き続き、医療体制の確保や新型コロナウイルスの影響を受けた地域経済の回復などに全力で取り組んでいきます。